

【現代の国語】

＜学習内容について＞

話す・聞く力や書く力など、実社会に必要な国語の能力の基礎を身に付けます。随想や評論文を読み、物の見方や考え方を広げたり、グラフや写真・新聞記事などの実用的な文章を扱い、正確な読み取りを目指したりします。

＜教材について＞

教科書：「新編現代の国語」（東京書籍）

学習書：「新編現代の国語 学習書 令和7年度改訂」（NHK 出版）

＜レポートについて＞

レポートの回数は6回です。

〔前期〕

第1回：「自己を見つめる」

第2回：「他者に出会う」

第3回：「言葉と生活1」

第4回：「視野をひろげる」

第5回：「言葉と生活2」

第6回：「世界とつながる」

＜学習の進め方について＞

レポートは、空欄がないように取り組みましょう。教科書を丁寧に読み、辞書や学習書を活用して解いてください。毎回、表現問題（作文など）を出題します。自分の意見や思ったことを素直に表現しましょう。

＜スクーリングについて＞

スクーリングに出席しなければいけない時間は、3時間です。忘れ物がないように注意し、出席しましょう。

＜評価について＞

評価は、試験成績と平常点（レポートの成績、実技成績、学習態度等）を以下の観点をもとに総合して100点法で行い、30点以上を合格とする。

〔知識・技能〕

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。

〔思考・判断・表現〕

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力

や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。

[主体的に学習に取り組む態度]

言葉を通じて積極的に他者や社会と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。